



一般社団法人 板 硝 子 協 会

令和 7 年 12 月

『板ガラス産業の 2050 年カーボンニュートラル実現に向けたビジョン 2025』 について（お知らせ）

一般社団法人板硝子協会（会長 森重樹）は 12 月 12 日（金）「板ガラスリサイクルビジョン～ファーストビジョン 2025～」の発表に先立ち、2050 年カーボンニュートラルの実現に向けた会員 3 社（AGC 株式会社・日本板硝子株式会社・セントラル硝子プロダクツ株式会社）の方針を示したビジョン 2022 の改定版『板ガラス産業の 2050 年カーボンニュートラル実現に向けたビジョン 2025』を発表しました。

ビジョン 2025 では、2024 年度に立ち上げたサステナビリティ特別委員会の活動成果として、CO₂排出量及びカレットリサイクル量の 2030 年度マイルストーン、また 2050 年度に達成すべきカーボンニュートラルとカレットリサイクル量の最終的な数値目標を掲げております。

板硝子協会ではすでに住宅・ビルなどで消費される冷暖房エネルギーに対し高い省エネ効果が期待できる「エコガラス S」「エコガラス」の普及に努め、オペレーションカーボンの削減に力を入れておりますが、このビジョンに沿って、この数値的裏付けとなる「板ガラス製品のエンボディドカーボン算定ツール」の開発も完了しております。これにより一条件下におけるオペレーションカーボンの計算結果と組み合わせて『窓』のホールライフカーボンのシミュレーションが可能となりました。

私たちは今般、マイルストーンを明確にした『板ガラス産業の 2050 年カーボンニュートラル実現に向けたビジョン 2025』に基づいて、2050 年カーボンニュートラルの実現に向けて努力し続けてまいります。



水谷委員長（右）と久田部会長（左）



プレス発表会場

以上.